

【症状等による病院の種類と機能】

病院には、下記のように、大きく3つの病棟があります。急性期病院を退院の際には、病院内のMSWIに相談してみましよう。

急性期
病棟

「治療を行う」病院を指します。対象となる病院は次の3つです。

- ・一般病院（通常よく利用する病院）
- ・地域医療支援病院（地域拠点の中心して機能し、原則紹介状持参）
- ・特定機能病院（高度な医療を提供病院。原則紹介状持参。全国85病院）

慢性期
病棟

2つのタイプがあります。背景として医療費の拡大抑制と社会的入院の抑制がです。言わば、「病状の回復見込の少ない人」が該当します。2000年に次のようになりました。病床の種類は ①医療保険型療養病床
②介護保険型療養病床

（説明）

①病状が安定している長期療養患者のうち、密度の高い医学的管理やリハビリが必要な患者。医療区分2と3の方(※1)。医療保険適用
概算費用約15万円(食事代、部屋代含)。包括医療

②病状が安定期にあり、療養上の管理、看護、介護、機能訓練が必要な要介護者。医療区分1の方。介護保険適用
概算費用介護保険1割負担を含め、約18万円(食事代、部屋代含)。但し介護保険負担限度額認定証の適用による軽減あり。

回復リハビリ
病棟

急性期の状態が過ぎ、生活のための「リハビリ」を行う病棟を指します。対象となる主な症状は次のとおりです。

- ・脳血管疾患、脊髄損傷、高次機能障害をともなった重症脳血管障害、大腿骨骨折、等です。疾病内容により入院期間の制限があります。

【※1 補足】各医療区分における処置例

3：24h持続点滴、中心静脈栄養、人工呼吸器使用、酸素療法等、

2：透析、喀痰吸引(1日8回以上)、気管切開等

1：3と2に該当しない人

【老人保健施設等】

病院の他に、老人保健施設があります。病院のMSWとケアマネジャーに相談してみましよう。